

JIS A 1450(フリーアクセスフロアの試験方法)の改正が行われましたのでお知らせいたします。

公示日 2021年11月22日

フリーアクセスフロア工業会は、試験方法を運用している中でより明確で理解しやすい内容にするため、改正の審議を行った。具体的には、衝撃試験における再現性の向上のために加撃体の形状見直し、燃焼試験における試験条件の明確化のためにユニット数の見直しを行い、より適切で明確な規定となるようにしました。

改正点主なものは、次のとおり。

3 用語及び定義 床高さの定義の追加。

6.3 衝撃試験 衝撃力を再現性よく取得するため、加撃体(衝撃用砂袋)の落下高さ及び加撃体の形状、材質、質量、高さを変更する。

1)落下の高さを250 mm→400 mmにする

2)砂袋の質量を30 kg→20 kgにする

3)加撃体の形状の変更(直径×高さ)φ220 mm×700 mm→φ190 mm×600 mm

4)加撃体の布素材材質を決める。外袋:綿帆布4号、内袋:綿帆布11号

6.4 ローリングロード試験 用途により現行規格に規定されている車輪の往復数以外の往復数を要望される場合に対応するため、車輪の往復数に“当事者間の協定により変更してもよい”と追加する。また、試験の記録に往復数を加える。

6.5 燃焼試験 酸欠による燃料が燃え尽きる前に炎が消えてしまう事態を避けるために、試験体のユニット数を変更する。

1)ユニット数を1ユニット～9ユニット→1ユニットにする。